

## ⚠ LCD モニターの特性に関する特記事項

以下の症状は、LCD モニターの特性に起因するもので、故障・不具合ではありません。

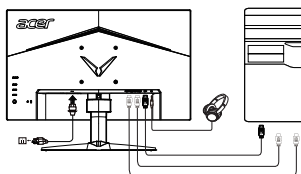
- LCD モニターのパネルは、非常に精密度の高い技術で製造されておりますが、画面の一部に点灯しない画素や、常時点灯する画素が存在する場合があります。
- 表示する画像パターンによって、画面の明るさに多少のムラが発生する場合があります。
- LCD モニターのパネルは、長時間静止画を表示させた場合、残像が残ることがあります。

## 台座の取り付け

1. 梱包箱からモニター本体と台座、脚部を取り出してください。
2. 台座を水平で安定した場所に置いてください。
3. モニター本体に脚部を差し込み、脚部と台座の向きと溝が合うように差し込みます。リリースボタンがはまるまで、しっかり差し込んでください。

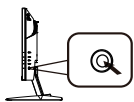
## モニターにパソコンを接続する

1. お使いのコンピュータの電源を切り、コンピュータの電源コードを抜いてください。
2. 信号ケーブルをモニターの DP および / または HDMI (別売) 入力ソケットとコンピュータのグラフィックスカードの DP および / または HDMI (別売) 出力ソケットに接続します。
3. モニターの電源ケーブルをモニターの背面にある電源ポートに差し込みます。
4. パソコン、モニターの電源ケーブルを、それぞれコンセントに接続してください。




## 🔊 .....




注: オーディオ出力はオーディオ出力モデル専用です。詳細な指示については、ユーザーマニュアルを確認してください。



- 1
- 2
- 3
- 4
- ⊙ — 5

## 外部コントロール

1	電源ボタン	モニターのオン/オフを切り替えます。青色は電源オンを示します。黄色は、スタンバイ/省電力モードを示します。
2	ファンクションキー 	<ol style="list-style-type: none"> <li>a. 押してメインページを表示します。もう一度押すと、ホットキー 1 の機能に入ります。</li> <li>b. 機能メニューが有効になっているとき、このキーを押すと、モニターの基本情報や現在の入力を表示したり、色のカスタム設定を工場出荷時の状態に戻したりできます。</li> </ol>

3	ファンクションキー 	a. 押してメインページを表示します。もう一度押すと、ホットキー 2 の機能に入ります。 b. 機能メニューが有効になっているとき、このボタンを押すと、シナリオモードまたはゲームモードを選択できます。
4	ファンクションキー 	a. 押して、メインページを表示します。もう一度押すと、入力選択機能に入ります。 b. 機能メニューが有効になっているとき、このボタンを押すと、OSD が終了します。
5	ファンクションキー 	a. 押して、メインページを表示します。もう一度押すと、機能メニューの次の機能に入ります。 b. ディスプレイベゼルの裏側にある切り替えボタンはジョイスティックのように機能します。カーソルを動かすには、ボタンを 4 方向に動かします。ボタンを押すと選択されます。赤色は動作可能を示します。灰色は動作不可能を示します。

※ 1 スピーカー内蔵モデルのみ ※ 各機能の詳細は、「ユーザーズマニュアル」をご覧ください。機能します。

◎本書の内容の一部、又は全てをコピー・転載することを固くお断りします。

◎本書の内容について、予告なく変更することがあります。

◎本書の内容について、万が一誤り等、お気づきの点がございましたら、弊社カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

モニタが故障するため、モニタの底を持って持ち上げないでください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

## FreeSync:

これにより、FreeSync 対応のグラフィックスソースは、標準的なコンテンツのフレームレートに基づいて表示更新レートを劇的に調整し、電力効率を改善し、事実上スタタのない、低レイテンシ表示更新を実現することができます。